

特定非営利活動法人UMLモデリング推進協議会 総会議事録

1 日 時 平成18年5月19日 午後14時15分から午後18時10分まで

2 場 所 東京都港区白金台1-1-50
都ホテル東京 クレドール

3 出席者数
21団体正会員/2個人正会員、2個人準会員、 (出席者総数 合計25名)

4 出席者氏名 (順不同)
上野南海雄、堀内一、山城明宏、深谷哲司、岸上信彦、伊波通晴、藤野博之、富沢雅彦、久芳靖、
佐々木雅敏、橋本大輔、宮橋一郎、遠藤和弥、加藤雅樹、宮浦智範、藤木修、野口好博、田島一輝、
神谷有二、松本博行、江村晴男、西井利行、石田安志、吉田裕之、宮澤修二、北村正一、浜本雅英、
牧野友紀、小林正博、河野岳史、齋藤肇

5 報告事項
2005年度全体活動報告、決算、監査報告

6 審議事項
(1) 第一号議案 全体活動方針
(2) 第二号議案 各部会活動計画
(3) 第三号議案 理事および組織承認
(4) 第四号議案 予算案

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- ・司会より、上野南海雄氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。
- ・議長上野南海雄氏より、正会員52名中、出席23名、委任状18名により本総会の成立が宣言された。
- ・副会長堀内一氏より活動報告を配布し、2004年4月1日から2005年3月31日までの活動内容の報告を行った。
- ・報告内容は以下の通り。
会員数が予定を下回り74社となった。
モデリング技術者認定試験 L1T1の受験者数減少にあるがL1T2、L2受験者数増加傾向である。
モデリングスキル定義、ワークショップ、セミナー、モデリングフォーラム開催等の普及事業、
モデル共有促進事業成果として「ローレベルBPMNパターン」集が完成した。UML用語検討委員会によりUML2.0に対応した用語集が完成した。UML JIS化への協力。また、新たにオフショアソフトウェア開発分科会を発足した。
中国、韓国、対外関連団体との連携促進事業実施状況、その一環としての中国でのセミナー、中国での試験が2006年2月より開始された。韓国の試験開始は2006年6月を予定。
UMTP Internationalを2005年9月に発足させた。
標準化対応部会の活動状況。

・事務局小林正博氏より決算報告を配布し、2005年4月1日から2006年3月31日までの事業会計収支の報告を行った。また、監査報告書を配し、2005年4月1日から2006年3月31日までの第三期事業年度における財産の状況、業務執行について適正かつ適法に行われている旨、監査役の宮澤氏が報告を行った。

(1) 第一号議案 全体活動方針
副会長堀内一氏より活動方針案を配布し、この方針をもとに今後活動していきたい旨を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 各部会活動方針
モデリング技術部会、問題作成部会、BPMN研究会、オフショアソフトウェア分科会の4部会より活動報告および本年度の方針を配布し、各々、当該計画をもとに今後活動していきたい旨を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 各部会活動方針

モデリング技術部会、問題作成部会、BPMN研究会、オフショアソフトウェア分科会の4部会より活動報告および本年度の方針を配布し、各々、当該計画をもとに今後活動していきたい旨を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(3) 第三号議案 役員および組織承認

事務局小林正博氏より新体制および再任、退任、新理事、新監事候補案を配布し審議した結果、全員異議なくこれを承認した。尚、理事の再任・退任、新任理事、新任監事は以下①のとおり。また、組織の変更については②の通り。

① 留任：理事会長 上野南海雄、理事副会長 堀内一

留任理事：長瀬嘉秀氏、渡辺政彦氏、藤原淳一氏、藤野博之氏、嶋本正氏、山田伸一氏

留任監事：宮澤修二氏

退任理事：伊久美功一氏、棚倉由行氏

新任理事：岡田高行氏、石田安志氏

新任監事：佐藤久氏

② 組織について、下記内容について理事会より承認を得た。

会長を座長としたCIO懇話会を設置する。

経営委員会 富士通 田中氏に代わり吉田氏を新任。

運営委員会 副会長1名、各主査、各副主査で構成することとする。

部会主査 認定委員会 竹政氏、用語検討委員会 羽田氏、モデル共有促進部会 堀内氏
上記3名を新任、他部会委員会主査は留任。

(4) 第四号議案 本年度予算案

事務局小林正博氏より2006年度予算案を配布し審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

収入として、会費収入では、団体会員10団体純増を見込む。認定試験では、L1T1では200名の減少、L1T2、L2では20%増を見込む。中国での試験では、一般・学生を合わせて300名、韓国での試験では、学生の受験を見込んでいる。

支出として、

普及事業：報告書作成、セミナー開催費を含めて増大することを見込んでいる。

認定事業：UML2.0対応の試験開発、外部委託費を見込む。

共有事業：会議費として1律10万円、BPMN、オフショア分科会活動費として100万円を見込む。

管理費：情報発信を強化のためのホームページリニューアル他、スタッフ業務担当として派遣社員1名を1年間の予定で雇用。

収支：約770万円の赤字となるが、2005年度に出来なかったことについて今年度実施するために必要なものと考えている。尚、認定試験受験者数増加を目指し、本年度は販促活動を強化する。

8 その他

(1) 署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、堀内一氏及び小林正博氏を選任することを全員異議なく承認した。

(2) 運用規定改定についての報告

理事会において、成果物承認ルール改定、経営委員会・運営委員会の成立条件変更、主査の再任についての変更について諮ったところ、承認されたことを報告した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成18年05月19日

議長 上野南海雄

議事録署名人 堀内 一

議事録署名人 小林 正博

印

印

印